

数学特別講義

7/13 (火)、大阪府立大学理学系研究科より会沢成彦教授を本校にお招きし、SR科の1年生を対象に、講義「新しい数学の産まれる時」を行って頂きました。本講義では“フレクサゴン”と呼ばれる、しなやかに曲がる六角形の折り紙が紹介されました。講義内では、各生徒がフレクサゴンを折り返してみたり、作成に挑戦したりと、実際に手を動かしながら試行錯誤や考察を行いました。生徒達の夢中になってフレクサゴンに取り組む姿勢が印象的でした。

<生徒の感想(抜粋・要約)>

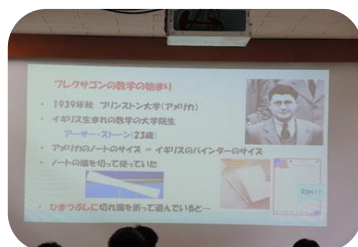
- ・フレクサゴンに触った時は、何もわからない状態でしたが、原理が分かってくると、とても楽しくできました。
- ・自分が少しでも疑問に思ったことを深く調べていけば、新しい事実が出るかもしれないと聞いたので、今後疑問に思ったことを調べようと思います。



講義では、3、4、6面のフレクサゴンが配られました。



実際にフレクサゴンづくりに挑戦しました。



フレクサゴンは学生の暇つぶしから産まれたようです。

コウノトリの郷公園等での研修

SR科の1年生は7/16(木)、同学科2年生は7/13(火)、豊岡市の兵庫県立コウノトリの郷公園と豊岡市立ハチゴロウの戸島湿地へ研修に行きました。コウノトリの郷公園では、コウノトリについて講義をして頂き、また、実際にコウノトリを見せて頂きました。ハチゴロウの戸島湿地では、コウノトリの餌となる湿地に住む魚類の捕獲・分類や、外来種の捕獲を行いました。

<生徒の感想(抜粋・要約)>

- ・ヒトの行動がめぐりめぐってコウノトリにも影響していることを知り、そのような問題に対して考えさせられた。
- ・コウノトリの郷公園に行くことができるととても嬉しかった。このような研修に行かなければ、コウノトリの絶滅の話やどのように周りの人が動いたかなどということは知ることがなかったと思う。



公園内ではコウノトリが飼育されています。また、公園近くにはコウノトリの巣塔も立てられていました。



湿地では予め仕掛けられていた網を引き揚げました。ハゼの仲間等が多くいましたが、中にはウナギなどもいました。



外来種捕獲のための網を引き揚げました。アメリカザリガニやウシガエルの幼生が数多く掛かっていました。

科学英語発表会・7th Science Conference in Hyogo

7/15(木)、SR科3年生の探究IIIの授業で、科学英語発表会が行われました。探究IIIでは、2年生の時にに行った課題研究の内容を英語でポスターにまとめます。本発表会では、そのポスターについてのクラス発表を行いました。生徒たちは、普段は慣れない英語発表に臨むということで、この日に向けて練習を重ねたようです。

<生徒の感想(抜粋・要約)>

- ・日常会話でなく、理系の科学用語を英語でプレゼンテーションすることは初めての経験で難しかったが、自分の知識を深めたり、視野を広げることに非常にプラスになった。
- ・コミュニケーションをとる上で一番大切なことは、分からなくて考えるのではなく、分からなくとも分からないなりに、相手の目を見て伝えようとする事なんだと思った。

また、7/17(土)、代表2班が神戸高校で行われた7th Science Conference in Hyogoに参加しました。7th Science Conference in Hyogoでは、神戸高校には阪神・神戸・但馬のSSH校が集まり、特別講演や英語での研究発表会が行われました。他の高校と交流ができ、良い刺激になりました。



科学英語発表会は発表も質疑応答も英語で行いました。



7th Science Conference in Hyogoでは科学者を目指す者への講演会も開かれました。



ポスター発表の様子です。他校の生徒と英語で発表や質疑応答をしました。